



あいのわ福祉会

# Ayase River Times

みんなで 「ほっと、いっしょに、いきいきと」  
～安心・信頼を大切に 共に考え・学び お互いの自己実現を目指します～

## < 施設長より >

11月19日、あいのわ支援センター谷中の開所式が行われた。利用者さんの地域生活支援の拠点となることを目指して開設された施設である。

入所施設やケアホームが開設されていくものの、利用者の大半はご家族と在宅生活を送っているのが現状である。あいのわ支援センター谷中への期待は大きい。

利用者さんの地域生活のあるべき姿は、どういうものなのか。

現況の地域生活で利用者さんやご家族は、どのような支援を望んでいるのか。サービス提供する側のニーズとずれはないのか。改めて地域生活の24時間の中身をひとつひとつ考えてみなければならないと思う。

本来「障がい者の地域生活」というのは、障がいの程度に関係なく、住み慣れた土地・家で自分らしく毎日を豊かに暮らすことである。三大介護といわれる「清潔(入浴)・食事・排泄」を満たすだけの暮らしではない。利用者さんは皆、ご近所と挨拶を交わし、余暇は散歩も買い物もしたいし、映画も観たい。友人と交わり、たまには食事にも出かけたい。ちょっと親から離れて暮らしてみたいかもしれない。しかし利用者さんを取り巻く環境は三大介護を満たすのが精一杯の状況がまだまだ多いように思う。

まず当施設の利用者さんの朝は、通所の準備をして通所バスに乗車してもらうという大変な作業がある。多くの利用者さんは朝の着衣交換、洗面、食事、歯磨き、排泄等全て介護を必要としている。仕度が整っても最後介護者が利用者さんを車椅子へ移乗することができず通所を諦めるということもある。また通所から帰宅した後は、還暦を過ぎた介護者も40kgを越すであろう利用者さんを抱えて普通の家庭浴槽で入浴介助である。浴室の外の衣服の着脱というのも結構大変な仕事である。食事も普通食が摂取困難であれば食事の加工という仕事もプラスされる。夜間になっても寝ない利用者さんも少なくない。通所の無い日はどう過ごしたらいいのか。

ご家族が利用者さんの余暇活動や思いまで考えをめぐらす余裕を持つことは難しい。介護者は自分の身体が不調になる度に将来の不安を膨らませていく。

このように厳しい地域生活状況ではあるが、私達はご家族の負担を和らげるためだけの支援にとどまることなく、利用者さんの生活に潤いをもたらす支援を心がけなければならない。

生活の質の向上である。



そしてもうひとつ、利用者さん・ご家族双方が「他者の力も使う」という壁を越え、地域の中に顔の分かる頼れる他人をひとりでも多く持つお手伝いができるよう心掛けたい。

(太田 記)

## < 事務室より >



先日ソウェルクラブ主催の「接遇講習会」に参加させていただきました。2日間で12時間の講習でしたが、とても内容の濃い講習であったという間の2日間でした。なかでも「電話の応対マナー」では、かけ方・受け方・取次ぎ方を受講者全員が実演し、テープに録音しみんなで聞いてディスカッションしました。明るくトーンの高い声は受講者全員に良い印象を与えました。なかには緊張してどもってしまう人も…(^\_^;)最近皆携帯電話で話すことが多く、家の電話はほとんど使われていません。かかってきた先も番号も全部電話に表示され、名乗る必要もなくなっています。昔は、友達に電話してご両親が出たらなんて言おうか言葉をちゃんと用意してかけたのですが。。電話は施設の顔・代表、そして慣れだと先生がおっしゃっていました。皆様に失礼のないよう正しい言葉遣いで対応しようと改めて感じ、また電話の苦手な職員にも積極的に電話に出て接遇用語を身につけて欲しいと思いました(\*\_\*)

(高原 記)

## < 保健室より >

先日、インフルエンザ予防接種を当施設でも行いました。予防接種を受けてもインフルエンザに絶対かからないわけではなく、「かかりにくい」「かかっても軽くすむ」などの効果を期待するものです。やはり普段からの予防が必要となり、「新型インフルエンザの感染拡大は一人ひとりが防ぐ」を心がけて欲しいと考えます。その為には、「①感染を予防するために**こまめな手洗い・うがい**を徹底しましょう。」「②感染をひろげないために**咳エチケット**を守ってください。」「③感染をひろげないために**かかったあとは外出自粛**をしてください。」などに注意するようにしましょう。



(野口 記)

## < 2F にこにこグループより >

11月19日を最後に全員が小外出に行きました。各々ラクーアに行ったり、柏の葉うらぼーとで買い物したり、乗物に乗ったりと、みんな笑顔が溢れるほど楽しむことができました。

日々のグループも後期に入り活動も頑張っています。グリーンプロジェクトは10月からメンバーを新たに入れ替えて作業を始めました。園芸部では冬に育つ野菜を植え、環境部は牛乳パックで小

物入れを作り、製品部では毛糸のボンボンをつけたアクセサリを作っています。その他の活動も元気に行っています。来月は全体行事のクリスマス会があり、出し物についてこれから話しあいや練習もしている最中です。風邪など引かないように体調に気をつけて下さい。

(直井 記)

## < 3F ゆいま〜るグループより >

すっかり冬らしくなり、肌寒さを感じる季節になりました。けれど、ゆいま〜るグループは、寒くても元気一杯!!小外出延期組も、新三郷のららぽーとへ出かけることができました。これからも、楽しいことが目白押しの、ゆいま〜るグループです!



(坂内 記)

## < 4Fグループより >

いつの間にか秋も終わり、寒〜い冬がやってきましたね。そんな寒さにも負けず、4Fグループでは外出行事最後のグループが亀有アリオ(11月10日)と浅草(11月19日)に行ってきました!雨天により延期になるグループもありましたが、どちらのグループもお買い物や映画、食事にスカイツリーと満喫できたようです◎ 来月にはクリスマス&忘年会を企画しています。どんな会になるか、今から楽しみです♪

(神野 記)

## < クラブより >

### ☆音楽・ダンスクラブ☆

今月の音楽・ダンスクラブでは、季節の歌(秋)に関連する曲を選んで利用者さんや支援員が一緒になってカラオケをしました。「紅葉」等の歌を皆で大きな声で笑いながら歌っていると、何故か寂しいはずの曲も、真夏の陽気な歌のように聞こえてくるから不思議です。来月は12月7日(火)に予定しています。今年最後の音楽・ダンスクラブです。皆さん楽しみにして下さいね。♪♪

(三宅 記)

### ☆スポーツクラブ☆

今月のスポーツクラブでは、借り物競争を行いました。スポーツクラブということで、ただの借り物競争ではなく、借りものが書いてある紙には、借り物の以外に体を動かすメニューを追加。利用者の方は、腕を伸ばしたり、腕を回したり。支援員は、腕立て、腹筋などなど。スポーツクラブ全体で、楽しく体を動かすことができました。

(星野 記)

### ☆オトナクラブ☆

お酒落な大人に近づくために、お酒落な休日の過ごし方をイメージしました。部屋を暗くし、今話題の広末涼子の旦那さんのキャンドルジュンのキャンドルを焚いて、リラックス空間での足浴タイム!!なんともお酒落な過ごし方です!!!  
キャンドルの綺麗な灯りの中、足浴でみなさんポカポカになりました。



(橋本匠 記)

## 今月のボランティアさん

さて、今月のボランティアさんは何人?

**10月22日~ 11月19日まで... 延べ 7人!!!**

綾瀬あかしあ園では、日常的な活動をお手伝いいただけるボランティアを常時募集しております。詳細については地域ボランティア担当 神野(じんの)・西川・尾臺(おだい)宛にお電話ください。

(地域ボランティア担当一同)

## ☆ 12月の予定 ☆

- |     |              |
|-----|--------------|
| 7日  | クラブ          |
| 18日 | 全体保護者会       |
| 22日 | 全体行事(クリスマス会) |
| 28日 | 通所最終日・仕事納め   |



## < 編集後記 >

毎年同じことを言うてしまうのですが、気がつけば今年も残り1ヶ月となりましたね。この時期になると「今年ももう終わりかぁ」と実感します。今までゆっくり過ごしていたのが、急に1年が終わってしまうような気になり、自分としては気持ちも焦り出す時期でもありません。年末で色々忙しくもなりますが、慌てずにとっしりと落ち着いた人間になれるように励みたいと思います。

(二宮 記)